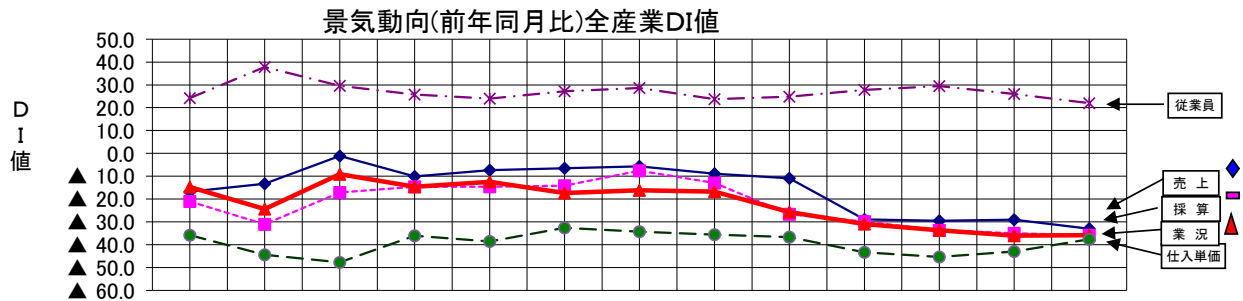


早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 2月分

【2月の概要】 売上は下降、先行きは新型コロナウイルスの影響に留意が必要

1月の業況判断に比べると、売上D I、採算D Iはマイナス幅が増加した。業況D I、仕入単価D Iはマイナス幅が減少し、従業員D Iはプラス幅が減少した。人件費、運搬費等固定費の増加傾向が続いている中、新型コロナウイルスによる影響も出始めている。

先行きの見通しについては、1月に比べ、売上D I、採算D I、仕入単価D Iはマイナス幅が減少したが、業況D Iはマイナス幅が増加した。従業員D Iは前月と同じで変動はなかった。年度末、春先の需要を期待する声も聞かれるが、新型コロナウイルスによるインバウンド減少や現地サプライチェーンの停滞など、海外情勢の動向、国内での影響に留意が必要となっている。



【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

	2019年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2020年 2月
◆ 売上	▲ 16.8	▲ 13.3	▲ 1.1	▲ 10.1	▲ 7.3	▲ 6.5	▲ 5.7	▲ 8.9	▲ 10.9	▲ 28.9	▲ 29.5	▲ 29.0	▲ 33.0
■ 採算	▲ 21.1	▲ 31.1	▲ 17.1	▲ 14.6	▲ 14.6	▲ 14.1	▲ 7.6	▲ 12.9	▲ 26.7	▲ 29.9	▲ 33.7	▲ 35.0	▲ 35.8
▲ 業況	▲ 14.7	▲ 24.4	▲ 9.1	▲ 14.6	▲ 12.5	▲ 17.4	▲ 16.2	▲ 16.8	▲ 25.7	▲ 30.9	▲ 33.7	▲ 36.0	▲ 35.8
● 仕入単価	▲ 35.8	▲ 44.4	▲ 47.7	▲ 36.0	▲ 38.5	▲ 32.6	▲ 34.3	▲ 35.6	▲ 36.6	▲ 43.3	▲ 45.3	▲ 43.0	▲ 37.6
* 従業員	24.2	37.8	29.6	25.8	24.0	27.2	28.6	23.8	24.8	27.8	29.5	26.0	22.0

売上D Iは4.0ポイント、採算D Iは0.8ポイントのマイナス、業況D Iは0.2ポイント、仕入単価D Iは5.4ポイントのプラス、従業員D Iは4.0ポイントプラス幅が減少した。

全産業平均D I - 向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
12月	▲ 19.0	▲ 25.3	▲ 24.2	▲ 30.5	28.4
1月	▲ 17.0	▲ 26.0	▲ 28.0	▲ 38.0	22.0
2月	▲ 15.6	▲ 22.0	▲ 29.4	▲ 27.5	22.0

先行き見通しでは、売上D Iが1.4ポイント、採算D Iは4.0ポイントのプラス、業況D Iは1.4ポイントのマイナス、仕入単価D Iは10.5ポイントのプラス、従業員D Iはプラス22.0ポイントで変動はなかった。

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	土木	3月の年度末を控え、完成工事高が増加する。
	管工事	新潟県内の景況低迷により、県外工事の受注に傾注せざるを得ず人件費が増加している。
製造業	鉄工	新型コロナウイルスによる影響が中国及び各国の製造業に出始めてきている。
	食品	売上は増加しているが、原材料費、人件費、運搬費等が値上りし採算面では厳しい。
卸売業	住宅機器	部品が中国から入荷せず、サプライチェーンの回復は現時点では見通しが立っていない。
	事務機器	需要が低迷しており、大型物件の受注が少ない。
小売業	生花	2月の売上は厳しかったが、3月以降、卒業や入社などに伴う需要増が見込まれる。
サービス業	広告	働き方改革による外注費の増加と人件費高騰により、採算に影響を与えている。
	ホテル	新型コロナウイルスの影響でインバウンドや外来の宿泊客が減少している。
	飲食	3月から5月まで春休み、進級・進学、GWと続くので今後3か月は売上増が見込まれる。